

名誉会員 追悼

名誉会員・石田頼房先生の逝去を悼む

石田頼房先生は、学生時代は戦後農村の再建による民主的な農村づくりの現地調査を通して研究活動を開始され、大学院では農村と都市の中間エリアである都市近郊地域に研究フィールドを移され、やがて都市と郊外田園地域を含む都市地域の計画制度研究に展開していかれました。先生が東京大学大学院に進学して都市計画研究に取り組み始められたのは、首都建設委員会が首都圏整備の構想案を公表し、日本住宅公団が設立された年であり、市街地改造法が公布された年に大学院を修了して、東京都立大学(現首都大学東京)工学部建築学科の助手に着任されました。

先生の学位論文は大都市周辺地域の市街地形成に対する規制手法の研究で、都市地域を歴史的に既成市街地、計画整備、開発抑制、開発禁止の4区域区分を提案されました。それは、新都市計画法の土地利用制度となる区域区分手法の先鞭をなすものでした。

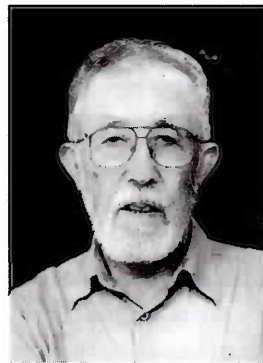
私が先生とお会いした1970年は、東京で急激な都市形成が光化学スモッグや高層マンションによる日照権問題など社会問題化していた時代で、新都市計画法の制定により、市街地の土地利用計画に区域区分(先生の4区域区分に対して施行された制度は2区域区分)と用途地域の細分化、容積率制度が導入されたときでした。

1970年代の都市形成の速度に計画論が追いつかない時代の中で、先生は都市問題の背後にある課題を抉り出すために、市街地形成を規制し、都市を制御してきたはずの都市計画制度について、歴史的発展的研究に取り組みました。その研究は、“歴史を学ぶ”のではなく、“歴史に学び未来を拓く”という理念に基づくもので、歴史の一齣ではなく、通史(発展史)研究に取り組みました。そしてそれは「日本の近代都市計画がつくられた歴史を解明し未来に活かす」通史研究の分野を拓き、築かれて、1991年に「日本近代都市計画史に関する一連の研究」で日本建築学会賞(論文)を受賞され、さらに、2004年には「我が国における近代都市計画史の研究とその発展に尽くした功績」によって日本建築学会大賞を授与されました。

受賞に際して石田先生は「これからも都市農村計画史の分野での研究を通じて、日本の都市農村計画・まちづくり・むらづくりの真の発展に力を尽くしたい。これは私の信念なのですが」と述べられました。先生には単なる研究ではなく、研究成果が都市づくりに、実践の場に活かされることの重要性を教えてくださいました。

先生は私どもに「将来の歴史」という道標を示されました。それは、「現状から将来に至る道筋を、都市とその空間形態の必然的歴史的発展と、それに働きかけて将来の望ましい目標像への道をたどらせるために必要な計画制度・技術の改良の展開として描くこと」とのご教示をいただいたと考えています。後に残された私どもは、それぞれの位置、立場で、将来から振り返られる都市づくり、まちづくり、むらづくりに励みたいと考えています。

中林一樹(明治大学特任教授/首都大学東京名誉教授)



— 経歴

- 1932年2月7日——東京府国分寺村 生まれ
- 1955年——東京大学工学部建築学科卒業、同大学院入学
- 1960年——東京都立大学工学部建築学科助手
- 1961年——工学博士(東京大学)授与
- 1967年——東京都立大学工学部建築学科助教授
- 1984年——東京都立大学都市研究センター教授
- 1991年——東京都立大学都市研究センター長・評議員
- 1994年——東京都立大学に独立大学院都市科学研究科を開設し、同研究科長
- 1995年——東京都立大学定年退職・同大学名誉教授
工学院大学特別専任教授(~1999年)
- 1999年——東京都立大学都市研究所客員研究教授
- 2002年——(NPO)かながわ総合都市政策研究センター理事長
- 2006年——(社)日本建築学会名誉会員授与
- 2015年11月4日——逝去(享年83歳)

— 受賞

- 1962年 日本都市計画学会石川奨励賞[論文調査部門]「大都市周辺地域の散落状市街地の規制手法に関する研究」
- 1965年 日本都市計画学会石川賞[計画設計部門](浦良一、井手久登と共同受賞)「八郎湯干拓地新農村集落計画」
- 1983年 日本都市計画学会論文賞「市街地形成とその規制手法に関する一連の研究」
- 1991年 日本建築学会論文賞「日本近代都市計画史に関する一連の研究」
- 2001年 日本都市計画学会功績賞
- 2004年 日本建築学会大賞「我が国における近代都市計画史の研究とその発展に尽くした功績」

— 主な著書

- 1987年 『日本近代都市計画の百年』自治体研究社
『日本近代都市計画史研究』柏書房
- 1992年 『未完の東京計画—実現しなかった計画の計画史—』筑摩書房
- 1999年 『森 鴎外の都市論とその時代』日本経済評論社
- 2004年 『日本近代都市計画の展望 1869—2003』自治体研究社